

# 第14回 全国高等学校英語スピーチコンテスト実施要項

※新型コロナウイルス感染症の蔓延のためコンテストが中止になる場合や、会場および運営の形態が変更になることもあります。

- 趣 旨** わが国の高校生の英語による表現力を伸ばし、英語学習に対する関心を高めるとともに、国際的視野を持つ人材の育成に資する。
- 主 催** 全国英語教育研究団体連合会（全英連）
- 後援（申請予定）** 文部科学省、外務省、東京都教育委員会、読売新聞社、ブリティッシュ・カウンシル、カナダ大使館、アメリカ大使館、オーストラリア大使館、NHKエデュケーション
- 大会運営** 全国英語教育研究団体連合会高校部会第二事業部
- 実施概要**

- 都道府県大会（以下、県大会とする）を実施し、県大会で選ばれた代表がブロック大会に臨み、ブロック大会で選ばれた代表が東京での全国大会に臨む。
- 全国大会は、ブロック大会の成績優秀者（各ブロック2名）により行う。
- ブロック大会は、県大会の成績優秀者により行う。ブロックは次の9つとする。  
北海道、東北、関東甲信越、東京、東海北陸、近畿、中国、四国、九州
- 県大会の成績優秀者は、各都道府県の高等学校英語教育研究団体が主体的に選考する。  
※選考の方法は問わない。ビデオ審査 オンライン審査等。
- 全国大会は、第1部、第2部の2部制とする。（各部の参加資格については、8. 参加資格の項を参照）  
各ブロックは、第1部に1名以上の参加者を出すものとする。
- 第2部において Questions & Answers (Interaction=「やり取り」) を実施する。

## 6. 期 日 2022年2月13日（日）

時 程	9:30	開会式
	9:45~12:15	スピーチ開始~終了
	13:30	閉会式（賞状授与）
	14:30~15:30	レセプション ※レセプションは中止になる可能性があります。

## 7. 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 大ホール

## 8. 参加資格

わが国の高等学校および高等専門学校（1～3学年）などの学校に在籍し、全英連の各ブロック大会においてブロック代表として選出された生徒とする。（1ブロック2名とする。）

ただし、過去に全国大会にて入賞した者は参加できない。

第1部に参加できる者は、下記(a)～(c)のいずれにも該当しない生徒とする。

- 満5歳の誕生日以後に、通算1年以上または継続して6ヶ月以上、英語圏（英語を第一言語、公用語、または公用語に準ずる言語として使用する国、地域）に居住した者。 ※英語圏詳細については別途、全英連ホームページに掲載する。ホームページ掲載は、6月の予定。
- 日本国内、海外を問わず、6ヶ月以上、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校（アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール、または授業科目の半分以上を英語で教育を行っている学校を含む）に在籍し、その教育を受けたことのある者。
- 満5歳の誕生日以後に、保護者または同居親族に、英語を母語とする者、もしくは英語圏出身の者がいる場合。

## 9. 論 題

- 自由（未発表のオリジナル原稿による prepared speech）

ただし、ブロック大会、全国大会を通じて、スピーチの内容に大きな変更を加えてはいけない。

- ブロック代表者は、指定の期日までにスピーチ原稿を全英連高校部会第二事業部に提出する。

## 10. 制限時間 4分30秒～5分30秒

- 審査基準**

第1部	内容 Content 50点、英語 English 30点、態度 Delivery 20点、	合計 100点
	Questions & Answers (Interaction) は実施しない。	
第2部	内容 Content 50点、英語 English 30点、態度 Delivery 20点、	
	Questions & Answers (Interaction) 15点	合計 115点

12. 審査員 審査委員長 鳥飼玖美子（立教大学名誉教授）  
 審査委員 木村松雄（青山学院大学教授）、新崎隆子（会議通訳者）  
 ゲーリー・スコット・ファイン（東海大学教授）、  
 ピーター・バラカン（ブロードキャスター）、ケイト・エルウッド（早稲田大学教授）
13. 引率 参加生徒は必ず教員が引率する。

〔附則〕

#### 1. 参加資格

- (1) 参加資格の項にある学校に在籍する外国籍の生徒も参加できる。ただし、留学生は参加できない。米軍基地内の学校のように、外国の学校に在籍する生徒は参加できない。参加者は学校長の推薦を必要とする。参加者については、当該学校長は推薦の際、参加資格に抵触しないことを証するものとする。
- (2) 検討が必要とされる場合は、全英連高校部会第二事業部が判断する。

#### 2. 制限時間

- (1) 計時は、生徒の第1声から開始する。
- (2) 4分、4分30秒、5分、5分30秒の時点で時間を示す。
- (3) 4分30秒に満たない場合、または5分30秒を超えた場合は、減点する。
- (4) 第2部の Questions & Answers (Interaction) は、制限時間には含めない。

#### 3. 審査

- (1) 第1部、第2部の審査・表彰はそれぞれ別個に行う。
- (2) 内容・英語・態度（第2部は、Questions & Answers (Interaction)を含む）の観点を踏まえ、スピーチを総合的に審査する。
- (3) 各審査委員の順位を集計し、それを基に審査委員で協議し最終順位を確定する。

#### 4. 宿泊施設

- (1) 国立オリンピック記念青少年総合センター内の宿泊施設を利用する。
- (2) 代表生徒は全員A棟に宿泊する。
- (3) 引率教員は原則としてセンター内に宿泊する。

5. 著作権 ブロック代表生徒のスピーチの著作権は主催者に帰属する。

6. その他 発表者はマイクを使用する。

全国英語教育研究団体連合会（全英連） <http://www.zen-ei-ren.com/>

〔事務局所在地〕 〒162-0808 東京都新宿区天神町1番地 天台ビル6F

TEL/FAX: 03-3267-8583

〔ブロック大会問い合わせ先〕

\*各都道府県大会に関しては、学校を通して各都道府県の担当者にお問い合わせ下さい。

ブロック	責任者	所属校	ブロック	責任者	所属校
北海道	高椋 勇一	北海道千歳高等学校	近畿	竹村 有紀子	京都府立嵯峨野高等学校
東北	小山 淳子	山形県立山形中央高等学校	中国	平野 洋造	広島県立安古市高等学校
関東甲信越	村越 みどり	神奈川県立厚木東高等学校	四国	高島 佐依子	香川県立坂出高等学校
東京	問谷 薫	東京都立文京高等学校	九州	森山 裕之	長崎県立長崎北高等学校
東海北陸	森田 真知子	三重県立松阪高等学校			

〔全国大会問い合わせ先〕

全英連高校部会第二事業部長 下山 宣子（東京都立多摩科学技術高等学校）

〒184-8581 東京都小金井市本町6-8-9

メールアドレス Nobuko\_Shimoyama@education.metro.tokyo.jp